

# ちょっと待って！ ケータイ & スマホ



ケータイやスマホを使う目的や使い方をしっかり考えよう。



# その人は誰？ SNS の出合いに注意



## ●ネット上の相手はどんな人だかわからない！ 自分だけは大丈夫なんてありえない！

SNSとは、「人と人とのつながり＝コミュニケーション」をネット上で可能にしてくれるサービスやサイトのこと。誰でも手軽に使えるので、情報発信や情報交換の場として世界中の人が利用している。そこには「いい人」も「普通の人」も「ウソつき」も「いい人の仮面をかぶった悪い人」もいるけれど、それをやりとりの中から見抜くのはとてもむずかしい。

リアルに知っている人とのやりとりだけに使うのなら安心だけど、たくさんの人からメッセージが来るようになると、気をつけているつもりでも見知らぬ人とのやりとりが始まってしまうことがある。そして、知り合った人たちのコメントを見てまわっているうちに、プライベートな情報が知れ渡ってしまうこともある。

個人的に自分の個人情報や写真を送ったり、直接会うなんて、とっても危険なんだ。実際に事件や犯罪に巻き込まれてしまっている子も大勢いるから、絶対にやっちゃダメ。

SNSの利用規約には、「保護者の同意を得てから利用するように」と書かれている。知らない人とのやりとりをすることは危険がいっぱいであることを覚えておこう。「公開」「非公開」「友だち限定」などの設定はとても大切。「公開」のままやりとりをしないようにしよう。

**【事例】** 自ら作ったアイドル情報を発信するサイトを通じて知り合った小6女子に、「画像を送れば、アイドルのメンバーと話ができる」と持ちかけて、上半身裸の画像を携帯電話に送らせた男性(47)が逮捕。

そんなひどいことするの？

# いじめは最低！



仲間はずし



いやがらせ画像



悪口の書き込み

## ●ネットで、仲間はずれや悪口を書くとなにが起こるのか…考えたことある？

それほど悪気がなくても、人の悪口は書かれた人にとっては想像以上につらいもの。たくさんの人が見るネットに、人を傷つけるような書き込みをするとどんなことがおこるか考えたことがある？ いじめられた人は学校に来られなくなったり、死んでしまいたくなるほどつらい思いをする。実際に命を落としてしまった人もいる。書きこんだほうもネットで身元を調べられて責任を追求されることもある。そんなことにならないように、書き込む前の確認を忘れないで。

## ●人を傷つけるようなことを決してネットに書きこんではいけない！

自分が書いたことがばれないと思っていても意外と簡単に個人は特定される。匿名（とくめい）で書き込みをした場合でも、通信記録が残っているから警察が調べればすぐに分かるんだ！



## ●いじめに気がいたら、先生やまわりの大人に相談しよう。

ネットで見ることができない、通話アプリの場合は、その画面のコピー（スクリーンショット）を残しておいて相談する際に見せるという方法がある。いじめに気付いても知らんぷり…は許されない！大変なことになる前にまわりの大人に相談しよう！

**【事件例】** 中高生の少女4人（14～17歳）が無料通話アプリで知り合った女子中学生に暴行を加えたとして、傷害容疑で逮捕。「被害者がアプリでの連絡を絶ったり、態度が悪かったりしたことに腹が立った」などと供述。

# ぜったいダメ！ 面白半分の投稿

## ●自分で面白がって投稿したことで、一生を台無しにすることもある

「注目を浴びたい」「面白いやつだと言われたい」最近 SNS で面白半分の不適切な投稿が目立っている。みんなに「いいね」って言われたい！でもネットに載せたら自分の仲間以外の人達も見ろんだ。自分で「面白い」と思ったものが、実は世の中の人には不愉快であったり、社会的に許されなかったりすることがある。

たくさんの人に写真や情報を送ることって、本当は楽しいもの。でも最近、自分の写真だけでなく他人の写真も勝手に載せてしまう人がいる。著作権や肖像権、そしてプライバシーの侵害になることも。

## ●ネットに載せた情報はずっと残り続けてしまう

一度ネット上に載ってしまった情報はコピーが繰り返されて拡散し、完全に削除することは非常に難しい。どんなに後悔してもしきれない傷になる。

## ●友達との悪ふざけもネット上では命取りになることを忘れてはいけない！

あっという間に自分の名前も顔写真も公開されたり、写真の位置情報から自宅の場所が特定されることもある。自分のしたことで家族が巻き添えになったり、就職の内定取り消しや、婚約破棄の事態になり、たった一つの投稿で一生後悔することも。

【事例例】コンビニのアルバイト店員（男性）が売り場の冷蔵庫に入った様子を SNS へ投稿。店員は解雇。コンビニは休店の騒ぎに。



# そんなつもりじゃなかったのに… 多額請求が

## ●利用規約を必ず読むこと。有料のものを使うときには事前に保護者に相談

「無料で遊べると書いてあったゲームサイトにアクセスして、高額な請求をされた」「1つ1つが安いゲームを気軽に購入していたら、いつのまにかとんでもない金額になっていた」ということがある。まずは本当に無料なのか？と疑うこと。ゲームは無料でもアイテムは有料ということもある。

## ●お金の使いすぎに注意

プリペイドカードを利用して、購入しすぎないようにするという方法もある。また、大手ゲーム運営会社で、「15歳未満は5,000円まで」などと、ひと月にこれだけの金額しか使えないという上限をもうける取組も始まっている。

## ●スマホの時代だからこそフィルタリングはやっぱり必要だね！

自分では気づかないうちに有料サイトに引き込まれてしまって、多額のお金を払えとおどされるようなこともある。だから危険なサイトや悪質なサイトに行ってしまうのを防いでくれる「フィルタリング」が役に立つ。

**【相談例】** 音楽プレイヤーで有料サイトに突然つながってしまった。利用規約が小さく書いてあったのに気づかず「同意する」をクリックしたら、突然、入会金の請求画面が表示された。すぐには退会できず、3日以内に入会金を払わないと退会できない、またそれより遅くなると2倍になると書いてあった。未成年ならば生徒手帳の写真をつけてメールで返信しなさいと書かれている。

**【相談例】** 携帯電話の請求金額が、3か月で数十万円にもなっていた。通信料のほかにコンテンツ制作会社からの請求もある。



# 無料アプリが危ない！個人情報盗まれる？



## ●無料アプリに気をつけよう

アプリの中には、広告収入等を得ることにより、無料で利用できるものもある。でも、中には悪質なものもあり、キミたちのスマホの中の位置情報や電話帳の電話番号、メールアドレスなどのさまざまな利用者情報を吸い取って利用しようとするから気をつけなさい！

自分や大切な友達の情報を守るためにもアプリは公式サイトからダウンロードするように注意し、利用規約や同意事項、個人情報の扱いをよく読んでから利用しよう。

判断がつかないときは保護者に相談するなどしよう。

## ●スマホの位置情報の設定に注意

スマホの位置情報をオンにした状態で撮影した写真には、位置情報が記録され、どこで撮影した写真かということがわかってしまう。写真をメールで送ったり、ネット上に公開すれば、自分の行動や自宅のおおよその場所等が見ず知らずの人たちに知られてしまうかも。スマホで写真を撮る前に、位置情報の設定を確認しよう。ネットの向こう側にいる見えない相手は、身近な友達とは違うことを意識して、メールアドレスや写真の交換を安易に行うことは絶対にやめよう。

【相談例】 ネットで知り合った人とメールアドレスを交換して写真を送ってしまった。すると、「自宅の特定ができたから住所や電話番号をネットにさらす。」と言われた。すごく怖い。むこうには自分の個人情報が分かっているようだ。ネットに公開されると心配だ。

# ルールを作って安心を、フィルタリングをかけて安全を！

ネットを利用する際にどんな機器を使うかという違いはあっても、基本は人と人がつながる世界。楽しく安全に使うためには、ルールをつくるのがおすすめ。それぞれの家庭と環境に合わせて、子供と一緒に話し合いながら子供が実行できるような無理のない具体的なルール作りを考えてみましょう。

ルールが決まったら、紙に書いてリビングに貼っておきましょう。

1. 子供達にルールを作らせる。
2. 親の希望をいれて無理のないルールを作る。
3. ルールを守れなかったときのルールをしっかりと伝えておく。
4. ルールは子供の成長に合わせて見直しをする



## 1. どんな時に使う 時間か心配

- (例)
- 食事中は使わない
  - お風呂に持ち込まない
  - 夜\_\_\_\_時をすぎたら利用しない
  - 利用は1日\_\_\_\_分まで
  - 家ではリビングで使う
  - 充電器はリビングにおく

## 2. なんのために使う やりとりか心配

- (例)
- 自分の個人情報は書かない
  - 悪口を書き込まない
  - 迷惑メールに返信しない
  - チェーンメールを転送しない
  - 知らない人からメールがきたら保護者に報告する

## 3. 使うための約束 料金か心配

- (例)
- 明細で料金を確認する
  - 料金が\_\_\_\_円を超えた分はおこづかいで払う
  - 料金が\_\_\_\_円を越えた翌月はケータイを使用しない
  - 着メロ、音楽、ゲーム等は勝手に会員登録やダウンロードをしない

## 保護者のみなさまへ

インターネットの危険なサイトの閲覧をブロックする仕組みが「フィルタリング」です。

現在、「青少年インターネット環境整備法」という法律により、18歳未満の子供のためにケータイ

やスマホを購入する場合には、携帯電話事業者等に未成年者が利用することを申し出たうえで、フィルタリングを利用するよう義務付けられています。フィルタリングの方法はいくつかの種類がありますので、子供の判断力に応じたフィルタリング設定をしてあげてください。よくわからなければ、購入窓口や携帯電話会社等へ問い合わせして利用しましょう。

携帯ゲーム機や携帯音楽プレイヤー、テレビなど、インターネットを利用できる機器が多くなってきました。こうした機器でも、危険を避けるために、「ペアレンタルコントロール」機能を利用してインターネットの閲覧を制限したり、Wi-fiに対応したフィルタリングを活用するようにしましょう。

スマホや携帯音楽プレイヤーは従来のケータイとは大きく異なり、パソコンと同様に基本ソフトのアップデートやセキュリティソフトの導入が必要になりますので、契約時によく確認しましょう。

これらのことを十分考えて、子供と一緒にケータイやスマホの安全な使い方について、話し合ってみてください。

## 携帯電話等問い合わせ窓口

- NTT ドコモ 0120-800-000
- KDDI (au) 0077-7-111
- ソフトバンク 0800-919-0157
- イー・モバイル 0120-736-157
- ウィルコム 0570-039-151

